

第1回鹿沼市総合計画審議会議事録

開催日時	平成22年11月26日（金） 14:00～16:10
開催場所	鹿沼市民文化センター 大会議室
出席者	総合計画審議会委員：23名 鹿沼市：佐藤市長、福田副市長、角田教育長、大貫総務部長、金子企画課長 ほか企画課職員
会 議	<p>○ 開 会（進行：金子課長）</p> <p>1 委 嘱 （委員を代表して赤津委員に市長から委嘱状を手渡した。）</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 委員紹介 （名簿順に金子課長から紹介）</p> <p>4 会長・副会長の選任 ⇒ 中島要三委員から石川昌一委員を会長に、との推薦があり、承認された。 <会長就任挨拶要旨> 会長は重責であるが、立派な委員さんたちと一緒に努力していきたい。 審議会というと最初は緊張しがちであるが、リラックスして、忌憚のない意見をいただきたい。現在、鹿沼市では、自治基本条例や新教育ビジョン、博物館構想などいろいろ検討している。総合計画についても、ご指導、ご支援をいただきながら、よい計画に仕上げていきたいので、長丁場になると思うがよろしくをお願いしたい。 ⇒ 副会長については、石川会長から鈴木庸介委員に、との推薦があったが、本人が欠席であるため、後日意向を確認した上でお願いすることとなった。 （後日本人の了承済み）</p> <p>5 審議会への諮問 市長から石川会長に第6次総合計画の策定について、諮問書が手渡された。</p> <p>6 議 事 別添資料1～3について事務局から説明後、各委員から意見を頂いた。</p> <p>(1) 第6次総合計画の策定について</p> <p>① 策定要領について【主な質疑等】</p> <p>(委員) 審議会に求められているものは？立場は？</p> <p>(事務局) 各委員の専門家としての立場、得意分野で結構なので、事務局の案に対し忌憚のないご意見、アドバイスをいただき、できる限り計画に反映したい。</p> <p>(委員) 計画の量が多いが、分科会は開かないのか？</p> <p>(事務局) 審議会は6回ほど、各分野に分かれていただく分科会を2～3回開催する予定。</p> <p>(委員) 別の分科会にも出席できるよう日程的な配慮をいただきたい。</p> <p>(委員) 分科会を開催する場合は、下調べをした上で臨みたいので、その場で資料を配布するのではなく、事前配布をお願いしたい。</p> <p>(委員) 委員さんも忙しいと思うので、日程の調整は早目をお願いしたい。</p> <p>(会長) 市民の意見を聞く場合は、車座集会や地区別懇談会等、全地区を 網</p>

羅する形でお願いしたい。

(委員) 車座集会や地区別懇談会は、自治会等の一定の役職以上の人だけに呼びかけているのか？

(事務局) 地区全員を対象とし、周知している。

(委員) 新教育ビジョンについて、私は委員ではないので、整合性を図るため、事前に何か示して欲しい。

(教育長) 新教育ビジョンについては、総合計画との整合性を図りながら現在策定中である。必要であれば、後で資料を提供する。

(委員) 分科会はどう割り振られるのか？

(事務局) 各委員から第2、第3希望くらいまで希望を聞き、それらを基に分かれてもらうが、事務局としては、専門的な見地から意見をいただけるよう、関係した分野の分科会に入っていただきたいと考えているので了承いただきたい。

② 現計画の推進状況について【主な質疑等】

(委員) 堆肥化センターや地場産材の振興について、どのような具体的な結果、成果があったのか？

(事務局) 本日は、細かい数字を持ち合わせていないので、後日示したい。

(市長) 樽見委員の発言のとおり、「何かに着手した」「何かが完成した」、だけではだめ。事業仕分けでもそうだったが、どんな成果があったのか、が重要。そういった視点で多めに議論していただければありがたい。

(委員) 事業が非常に広範にわたっており、行政は大変だと感心させられた。未着手事業の内容は、後日、問い合わせればわかるのか？

(事務局) 積み残しの事業等については、後日、報告する予定。

(委員) 実績の中に「千手山公園の整備」があるが、栗野の「城山公園」がない。もっとバランスのとれた観光、点ではなく、線に結ぶ施策が必要。

(市長) 総合計画の中には、相当な数の事業が盛り込まれており、実際にやっている仕事はこの何倍かの数になる。この資料に掲載されている事業は、代表的なもののみであり、掲載されていないものは全くやっていないということではない。委員の御指摘どおり回遊性のある観光は必要と認識している。

(委員) 「ぶっつけ秋祭り」の記載がないのは意図的か？

(事務局) 主要事業の主なものを記載しただけであり、意図があるわけではない。秋祭りについては、継続して支援しており、貴重な観光資源として認識している。

③ アンケート調査の概要について【主な質疑等】

(委員) 回収率の考え方は？思ったより多かったか？年齢層ごとの回収率は？アンケート結果は設問ごとに年齢層別に分析できるのか？

(事務局) 回収率については、思っていたより若干少なかったが、やむを得ない数字であると感じている。年齢層ごとの回収率は集計分析をしていく中で出すことが可能。年齢層ごとの分析は、今後、クロス集計をかけていくことで可能。

(委員) 回収率の考え方は？思ったより多かったか？

(委員) 事業仕分けは、必要なのかもしれないが、鹿沼のやり方でやっていくべきでは。鹿沼を知らない外部の仕分け人にだめと言われたから全部だめ、というようなことはしないで欲しい。

(市長) 事業仕分けは、視点の問題。見方を勉強したことが大切。政策評価委員会でも、莫大な事業のひとつひとつをチェックすることはかなり困難。きめ細かなやり方を今後研究していきたい。

(委員) 鹿沼市には、人口の1%が外国籍の人々で、市民として貢献しているが、どのくらいの外国籍の人がアンケートに回答しているのか？また、対象とした2000人という数字は少ないのでは？

(事務局) 外国籍の方が何人回答したかについては、抽出一覧から調べることは可能。2000人という数字については、世論調査の数字に合わせている。

(委員) 若者からの回答が低い、高齢者だけでなく、若者からの意見も反映させる必要がある、郵送ではなく、携帯やインターネットを利用するなど、工夫した方がよいのでは。

(事務局) 参考とさせていただきます。

第1回目ということで、各委員から審議会委員としての抱負を一人ずつ発言していただいた。

(市長総括) これから鹿沼市の将来について提言をいただけるということで大変心強く感じている。課題は山積しており、順位付けしながらこなしていくことはつらい作業。重点事業は何か、や施策の優先順位というところまで突っ込んだ議論をしていただければありがたい。皆様の知恵を拝借してご教示いただきたいので、よろしく願いたい。

(2) その他

事務局から今後の予定と審議会委員報酬について説明した。

○ 閉 会